

活動報告

団体名	NPO 法人み・らいず
活動名	サロン立ち上げと運営の支援等による地域での支えあいサポート事業
活動期間	2016年7月～2017年3月
活動の成果	<p>1. 活動の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学生が活動をすることで、地域の課題が聞き取れたこと 活動の際に一緒に遊んだ子どもや訪れた父母の方からの聞き取り、活動している時のようすや聞き取った内容を、支えあいセンターの方にお伝えしました。 仮設住宅の中での住民同士の理解や、仮設住宅に住んでいる方と在宅の方の間にある壁など、地域によって、さまざまな課題を感じました。 • 学生だからできたこと これまで1度も談話室を訪れたことがない、という方が、大学生の呼びかけで談話室に訪れ、前向きに活動に参加していただけたこと。 子どもたちが、大学生と打ち解け、思い切り走り回ったりはしゃぐことができたこと。 • 熊本、九州の大学生、大学の先生とのつながりができたこと 支えあいセンターの方からも、継続的な活動の必要性を伺いました。熊本、九州の大学への訪問や広報を通して、つながりをつくりました。また広報の方法等をセンターの方に引き継ぎました。 <p>2. 課題</p> <p>ニーズの把握</p> <p>状況が刻一刻と変わっていく被災地のニーズを把握し、そのスピードにあわせた支援を行うことに課題を感じました。必要なタイミングで、必要な支援を届けることの難しさを感じました。</p> <p>当初は、御船町のサロン立ち上げが進んでいないことを受けて、夏休みに大学のボランティアを派遣しサロン活動を行う計画を立てていました。話を伺う中で、サロン立ち上げを本格的に行なっていくにはまだ早いのではないかとということや、ボランティアの受け入れ体制が整っていないことを感じ、計画を変更させていただきました。定期的に訪問し話を伺いながら、サロン活動に限らず必要な活動を考えました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>活動へのご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。自分たちの力不足もあり、すべての課題には答えられていませんが、熊本に訪問させていただく中で聞き取れたこと、学生と関わったことで笑顔になった子どもたちや、元気が湧いた住民の方達があります。今回の活動は、助成がなければ成し得なかったことで、感謝申し上げます。活動を通してできた繋がりを今後も、繋いでいきたいと考えております。今後も自分たちにできることを考え、精進していきたいと考えています。</p>

(活動のようす)

